経尿道的膀胱砕石術を受ける患者さまへ

患者様用

患者氏名：　　様　　受持医：　　受持看護師：

月日(日時)	／	／		／	／	／	／
経過(病日等)	入院日(手術前日)	手術当日		手術後1日目	手術後2～3日目	手術後4日目	手術後5日目
達成目標	◆手術の準備が整っている ◆手術前の検査が終了している ◆手術の必要性を、患者・家族が理解し同意する ◆退院基準を理解し、同意する	◆安全に手術を受けることができる ◆尿性状が血尿判定基準の3以下である ◆腰椎麻酔による副作用（頭痛・吐き気）がない ◆尿の管の違和感が緩和できる		◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆尿性状が血尿判定基準の2以下である ◆尿の管の違和感が緩和できる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆尿性状が血尿判定基準の2以下である ◆尿の管を抜き自然排尿がある ◆排尿時の疼痛や残尿感、頻尿などの症状が緩和できる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆尿性状が血尿判定基準の1以下である ◆排尿時の疼痛や残尿感、頻尿などの症状が緩和できる	【退院基準】 ◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆尿性状が血尿判定基準の1以下である ◆排尿時の疼痛や残尿感、頻尿などの症状が緩和できる
		手　術　前	手　術　後				
治療・薬剤 （点滴・内服）	眠れない場合は睡眠薬を内服します 手術の開始時間 （　　）時頃	手術が午後の場合点滴または補水食の摂取があります （　　）時頃から 手術の準備をします	点滴をしています 	点滴は手術後1日目まで行います			
処置	看護師が陰部の除毛を行います 浣腸を19時頃に行います 手の甲に主治医がマーキングをします	弾性ストッキングを履きます	尿の管が入っている間、膀胱内持続洗浄を行っている場合もあります	弾性ストッキングを外します 外尿道口消毒を看護師が行います	血尿の状態を観察しながら2日目以降に尿の管を抜去します		
検査				血液検査、レントゲン撮影があります			
活動・安静度	制限はありません 	制限はありません	手術後はベッド上安静です	制限はありません	制限はありません	制限はありません	制限はありません
食事	栄養士が栄養評価を行い、必要に応じて治療食となります	（　　）時から絶食です （　　）時まで飲水できます 	帰室後3時間から水やお茶を飲むことができます。食事は看護師の許可が出てから開始してください 通常、午前中の手術の場合は夕方より、午後からの手術の場合は翌朝より食事が開始になります	制限はありません 	制限はありません	制限はありません	制限はありません
清潔	除毛後に入浴します			看護師が体を拭きます	シャワー浴ができます	入浴ができます	
排泄	浣腸後に排便の確認をします		尿の管が入っています	尿の管が入っています	尿の管を抜いたあと、トイレで排泄できます		
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	受持医が入院診療計画書と手術について説明いたします 看護師が入院生活について説明をいたします 麻酔医が診察いたします 手術室看護師が訪問いたします 薬剤師が薬について説明いたします 手術に必要なバスタオル1枚を準備してください 入院費は3割負担で概ね11～12万になります 入院費に関するご心配事がありましたら、お早めに総合受付⑥番窓口にご相談下さい	 	手術後、ご家族・本人に受持医が手術の結果を説明いたします 尿の管で違和感や痛みがあるときは痛み止めの坐薬を使用いたします	尿の管や点滴が入っていますので、移動や着替えの際は看護師が行います 尿の管で違和感や痛みがあるときは痛み止めを使用いたします	尿の管を抜いたあとは多めに水分をとってください 排尿時の痛みや残尿感などがあるときは痛み止めを使用いたします 尿が出ない場合は主治医へ報告後、一時的に管を入れて尿を出します パンフレットに沿って退院後の生活について看護師が説明いたします	治療食の場合は、栄養士が食事について説明いたします 発熱や血尿がない場合は主治医の判断により退院できます	次回再診日をお知らせいたします

注1病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2入院期間については、現時点で予測される期間です

117-0102-01国立病院機構熊本医療センター泌尿器科　2012年10月作成